

就業体験学習

薬：L1-06403MY

総合科目 4～5 年／前・後期 1.5 単位 自由選択科目

科目責任者 進路就職支援委員長

■教育目的

将来の職業への適性を考える機会を持ち、自信をもってライフプランを設計できるようになるために、薬学部出身者が活躍している様々な業界で研修を行う。企業や公的機関の社会的役割や責任、そこで働くことの魅力などを理解するとともに、それぞれの業務と大学での学習内容との関連について考える。また、研修先での体験を通して、社会人として不可欠な一般常識や態度を身につける。(注)研修先は、企業の募集人数、募集方法、希望者の増減により、履修希望に添えない場合があります。

■学習到達目標

事前研修を受けた後、就業体験学習を通じて研修先の組織、活動内容を理解する。(知識、技能、態度)

具体的には業界ごとに、以下の目標を設定している。

1. 医薬情報担当者(MR)

(1) 医療現場での MR 業務を認識し、その役割を説明できる。(2) 医薬品の流通経路と MR の役割を説明できる。

2. 臨床開発

(1) 医薬品の探索から治験を経て申請・認可までの新薬の開発過程を理解し、一連の流れを説明できる。

3. 生産技術

(1) 医薬品製造の一連の流れを見聞し、医薬品製造の流れを説明できる。(2) GMP を理解し、内容、重要性を説明できる。

4. 学術

(1) 質問事項を解決すべく手法を見聞し、文献検索の例を示して説明できる。

5. 医薬品営業(MS)

(1) 医薬品の流通経路と MS の役割を説明できる。(2) 医薬品の市販後調査の手法とその流れを説明できる。

6. 公務員

(1) 行政機関の社会的役割を理解し、内容、重要性を説明できる。

■準備学習（予習・復習）

予習：研修先の組織、活動内容の概要をホームページ等で調べておく。また研修先で何を身につけるべきか(何を身につけたいか)を具体的に考えておく。

復習：研修内容を具体的に記録し、将来の就職先を決定するうえでの資料として保存する。

■授業形態

課題解決型学習（外部機関との連携あり）、グループワーク、プレゼンテーション、実習・フィールドワーク、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBO コード
1	ガイダンス	就業体験学習の目的について	
2～3	業界展望	業界(製薬企業、CRO、医薬品卸業、公務員等)の動向と職種	B(2)-②-2～3
4	事前研修	研修を受けるための心構えや身だしなみ、ビジネスマナー、コミュニケーション、守秘事項等について	B(2)-①-5
5～14	就業体験学習	・各業界の現状と業務、研修先の概要、コンプライアンスについて ・同行研修(病院、医院、医薬品卸等) ・医薬品の製造と物流(研究所、工場等) ・研修の総括(グループディスカッション、プレゼンテーション)	A(3)-①-1～9 A(4)-①-4～5
15	まとめ	研修内容、得た知識、感想等について報告	A(5)-①-1

■授業分担者

進路就職支援委員及び学外講師

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

授業1～4における授業後レポートの評価(10%)、就業体験学習学生評価表(30%)、報告の内容(60%)を総合して成績評価を行う。

■参考書

インターンシップ関連図書